



樹妙だより

No.212 2024/10.11

小林 玲那

有言実行

生徒ファーストな樹徳を目指して



清き一票を
お願いします！



生徒会の選挙ポスター（各生徒が作成、一部表紙のために編集）

10月は、季節が「涼しい」から「寒い」に変わり始め、年々盛り上がりを見せている「ハロウィン」が催されます。ハロウィンを特集したニュースでは、発祥は紀元前の古代ケルト民族に遡（さかのぼ）ると紹介されていました。

ケルトでは、11月1日が新年で、その前夜は秋の収穫物を集めた収穫祭が行われていました。そして、キリスト教が信仰されるようになると、11月1日が「諸聖人の日（万聖節）」、前日の10月31日は前夜祭になりました。諸聖人の日は英語で「All Hallows' Day」、前夜の10月31日は「All Hallows' Evening」、それが短縮されて「Halloween」になったということです。

なお、10月31日は「死後の世界の扉が開く日」といわれ、ご先祖様が戻ってくると共に、悪魔や魔女、この世をさまよう霊なども来てしまうと信じられていました。それら異界の存在から身を守るために、同じ格好の仮装やコスプレをするということです。

ハロウィンでは、子供たちがお菓子をもらう時に「Trick or Treat（トリック オア ト

リート）」という言葉を使います。「Trick」は、騙す、いたづらをする、「Treat」は、おもてなし、手厚く扱う、「or」は、もしくは、という意味なので、直訳では「いたづら、もしくは、おもてなし」になります。これを会話文にすると、「お菓子をくれないと、いたづらしちゃうぞ」になり、この言葉に対して大人たちは、「ハッピーハロウィン」と答えてお菓子を渡します。このお菓子は、悪霊を追い払う意味もあるそうです。

本校では、ハロウィンが近づくとライト先生が机の上にグッズを飾っています。私も最初は意味が分からなかったのですが、調べていくうちにハロウィンという外国の文化を少しは理解できるようになりました。

ハロウィンが終わると、季節は冬へと向かいます。晩秋の様々な催しや景色を楽しみながら、過ぎゆく秋をゆっくりと過ごすのもよいのではないのでしょうか。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

今夏が終わって秋がスタートしましたが、9月中はまだ暑い日が続いておりました。10月からは空がもっと透けて高くなり、豊かな実りの風が吹いてくることを期待したい

と思います。

読書の秋です。

本校の共生図書館は、多くの中学生高校生が毎日喜んで読書や学習に活用してくれております。ありがたいことに、生徒たちのお気に入りの施設の様であります。

この共生図書館は、樹徳高等学校創立100周年事業の一環としてつくりました。

創立者野口周善先生(1878～1950)は明治、大正、昭和にかけて世界一周をされました。そして、そこで見聞し学んだことを1つ1つ形にしてまいりました。公衆便所、職業紹介所、豊学校、幼稚園、保育所、中学校、高等学校などなど。その中の1つが私設図書館で、昭和8年に地域の子供達の資質や文化向上、豊かな情操環境のために作られました。洋館2階建てで館名を「共生図書館」といたしました。当時浄土宗では「ともいき」運動を展開しておりましたそこから頂きました。先生はその運動の中心的存在で、あらゆる人たちが協力し合って良い社会を作っていく・・・そんな先生の願いが命名に込められているのです。

昭和8年の『上毛及上毛人』という雑誌に共生図書館の記事があります。「桐生の私立図書館 野口周善氏の奮発」こんな見出しです。

私財を投じて設置計画中であった私立図書館は境内に新築なる。

鉄筋コンクリート2階建て、書庫、閲覧室、事務室も完成したので「共生図書館」の名称をもって、10月16日より一般に公開された。蔵書は仏教書を主とし、一般向けには図書、新聞、雑誌類も備え、更に付帯事業に児童向けの図書も設備し、児童文化事業にも手を進められているが、いまだ市中に独立した図書館が設けられず、市民からその実現が要望されながら市立図書館などはかけ声ばかりで一向にできそうもない折から、野口周善師個人の奉仕によるこの新図書館の実現は、各方面から大いに歓迎されている。(原文を現代仮名遣いに直しました)

創立者が褒められています。うれしいですね。ちなみに桐生市立図書館は2年後の昭和10年に創られました。

しかしながら共生図書館は昭和47年に施設

拡充のため取り壊しされました。

私は創立者の孫になりますが、振り返ってみると周善先生のされた仕事を焼き直して再興している、そんな役割が私に与えられているような気がしております。

創立100年を迎える記念事業は校舎建築でありましたが、それが完成後、直ちに思い描いたのが「共生図書館」を学校内に作らねばでありました。平成30年4月思いが叶い、完成したのであります。

講談社を創設された野間清治さんは、明治11年(1878)群馬県山田郡新宿村(桐生市)で生まれました。

そんなご縁で野間さんご本人から講談社読み物本を400冊、ご寄付頂いたのです。創立者野口周善先生も明治11年の生まれ、同い年、推測ですがもっと深いご縁があったのかもしれない。

完成に当たって当時の書籍の一部が、私が住職を務めます浄運寺の倉庫に沢山残されておりました。これを私含め、図書館長他何名かで何回かに分けて運びました。蔵書印を確認すると昭和8年5月、6月が多い。開設に当たって注文していた全集が毎日のように届けられる感じです。さすがに佛教関係の書籍が充実しております。高価な本が沢山ありましたから、創立者が開館するのに財政的にも大変だったはず。

そんなことを想像しながら、棚からホコリにまみれた重い書籍を下ろしている。

創立者は共生図書館を再興した私に、こんな経験をさせたかったのかなと思います。

私たちの作業を通して、開館した樹徳の共生図書館に創立者の心が、徐々に投入されて行ったと思います。

それから私は共生図書館にアンティークのディスクオルゴールを置いて、生徒達にその音色を聞かせたい、そんな願いを持っておりました

これも私がお世話になっている方が、ドイツポリフォン社が西暦1900年頃に製作したものを寄付して下さいまして、かなったのであります。

お陰様なのでありますが、思いは成し遂げられる。目標を持つことの大切さを生徒たちに伝えていきたいと思っております。 合掌

野間清治さんの言葉です。

志しがあるところ 道自ら生ず
これを追求すること
真剣なれ道は近きにあり

「不要不急」？

最近『不要不急－苦境と向き合う仏教の智慧－』という本を読みました。コロナ禍で急速に広がった「不要不急」ということばについて、十人のお坊さんがそれぞれ感じたことや考えたことを書いたものをまとめた本です。私がこの本を読もうと思った理由は、この「不要不急」という言葉が頻繁に使われるようになった頃、私自身もこの言葉から強い圧力を受けているように感じていたからだと思います。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃、私は仙台にある学校で教員として働いており、一人暮らしをしていました。流行以前は職場の同僚や大学時代の友人と夕飯を食べに行ったり、休日にお茶をしたりすることが私の楽しみでした。しかし感染症の流行により、なんとなく家の外で家族以外の人と一緒に食事をするのがはばかれるようになり、誰かと夕飯を食べて帰ることはなくなっていきました。外で誰かのご飯を食べることは、誰かの命令によって禁止されてやめたことではありません。しかしながら日々ニュースで見聞きする「不要不急」のキーワードや「協力のお願い」、「呼びかけ」によって、私が諦めたものだったように思います。もちろん感染の拡大を防ぐ努力は必要で、高齢者や持病のある人、小さな子どもにうつさないよう気をつけることは大切です。当時は医療現場、保健所職員の皆さんが不眠不休で仕事をしているなど、私がしている我慢などとは比べものにならない大変な思いをされた方が、たくさんいらっしゃいました。このように考えると、外で誰かのご飯を食べることは控えて当然のことだったかもしれません。

さて、冒頭で紹介した本の中で、お坊さん達やその周囲の人々が「不要不急」であると判断して中止したことには、法事・法要、法話会、講演会、禅宗の座禅会などがあったそうです。考えてみれば、私たちにとってお寺はお盆やお彼岸、ご先祖様の忌に家族や親戚、地域の人と「集まる」場所です。感染症流行以前の方法で行われていたお寺の行事のほとんどが「不要不急」で中止となってしまったそうです。では、お坊さん達は「そうか私たちって不要なんだ」と思ってお寺をたたんでお坊さんであることをやめてしまったか、というとそんなことはありません。この本に文章を寄せているお坊さん達は、自分たちが大切にしていることを人々に届けるためにどうすれば良いか考え、ある人は YouTube チャ

ンネルを開設して仏の教えを動画で配信、またある人は Skype や Zoom を駆使してオンライン座禅会を開催したそうです。お坊さん達には、実際に人々が集まって話し合うことは「不急」かも知れないけれど、仏様の心を人々に伝え続けることは「必要」だ、という信念があったのでしょうか。ちなみに法話や座禅会のオンライン化は、これまで参加したくても会場の遠さや自分の体調によって参加できなかった人も参加できるようになった、という効用もあったそうです。

私の体験話に戻りますと、私にとって誰かと一緒に夕飯を食べることは「不要不急」だったのか。感染症が消滅したわけではありませんが、少なくとも「緊急事態」から「日常」へと社会は移行しました。少し落ち着いた状態で振り返ってみると、私にとって、誰かと食卓を囲み楽しく会話を交わしながらご飯を囲むという行為は、なくてはならない「必要」なものであったのだと感じます。その日一日にあった楽しかったこと、場合によっては愚痴など、ご飯を食べながら、ですから、実はそんなに真剣に人の話は聞いていなかったりします。真剣な悩みを打ち明けたとしても、その場で劇的な解決策が見つかる訳でもありません。それでも、日々の食事を通じたどうでもよいような会話の積み重ねが、私にとっては大切なのでした。

何か差し迫った危機が訪れると、人は焦ったり不安になったりします。特に何に気をつけたら良いのかがはっきり分からないにもかかわらず、何かに警戒しなければならない状況に陥ると、「不要不急」は際限なく拡大してしまいます。要不要や優先順位は、人によって異なります。しかし、気持ちが焦っていればいるほど他の人に対して「ねえ、それって今必要?!」というような声がけとともに、相手の行動を制限してしまったり、相手に怒りを向けてしまったりします。人によって、何が大切で必要なのかは異なるということ、私にとって今必要と感じられないことが、後になって必要であったのだとわかることもあるということを心にとめて、日々を過ごしたいものだと思う今日この頃です。

地歴公民科 飯島まさみ

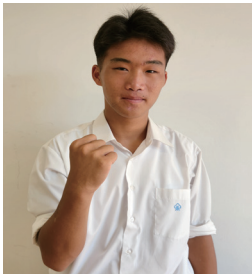
生徒会の意気込み

8月28日に生徒会選挙が行われ、9月2日に新年度の生徒会メンバーが発表されました。そのメンバーの意気込みを紹介します。



生徒会 会長 2年SS組 小林 玲那

第3期生徒会長に就任した2年SS組の小林玲那です。この度、皆さんの信頼を受けて生徒会長という大役を務めさせていただくことになり、大変光栄に感じています。これからの任期中、樹徳高校をより快適で過ごしやすく、学びやすいと感じることのできる環境にするため全力を尽くします。私たち生徒会は、樹徳高校を生徒一人ひとりが頑張りたいことに全力で打ち込むことができ、安心して過ごせるような場所となるようにしたいと思っています。そのために生徒の意見に耳を傾けられるよう Google フォームでアンケートを取り、一つでも多くの課題に向き合い、取り組んでいきたいと思っています。また、生徒の皆さんに生徒会の活動をより知ってもらうための取り組みや生徒一人ひとりが輝ける場所を作ること、そして先生方との話し合いの場を設け、生徒と先生との間の橋渡し役割にもなるように日々活動していきます。これからの一年、皆さんのサポートを受けながら、生徒会役員と共に課題に取り組み、学校全体をより一層素晴らしい場所にするために努力していきます。生徒と生徒会が一体となり、より良い樹徳高校を作っていきます！どうぞよろしくお願いいたします。



生徒会 副会長 2年K組 田内 京介

この度第3期生徒会副会長になりました、2年K組の田内京介です。私は第2期生徒会では会計を務めており、一年間精力的に活動してきました。その中で感じたのが、この学校には生徒が自由に意見を言える場が少ないということです。Google フォームを通してアンケートを実施、全校生徒の約7割の意見を集めることには成功しましたが、それでもまだまだ足りないと思います。学校生活の中で生徒が抱えている提案や意見を生徒会を通して学校側に伝えることができれば、この樹徳高校がより良い学校になると思います。また、私は生徒の意見に耳を傾けるだけでなく、先生方の声も聞きたいと思っています。なぜなら、学校は生徒と先生あってのものだからです。今までの生徒会では生徒の意見にだけに目を向けていましたが、この第3期生徒会では生徒の思いを集めて先生方へ伝えたり、同様に先生方の意見も集めて生徒に伝えられる架け橋のような生徒会を作りたいです。



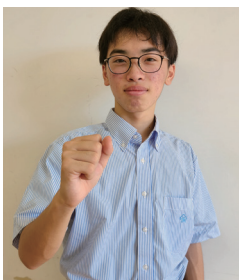
生徒会 会計 2年K組 天沼 剛己

この度、第3期生徒会会計になりました、2年K組の天沼剛己です。これから第3期生徒会として、生徒、先生、生徒会の繋がりを強くしこの樹徳高校を生徒一人ひとりが頑張りたいことに全力で打ち込むことができる場所にしていきます。私は前回の生徒会で先生たちと意見を擦り合わせるためには、生徒の意見だけではなく、先生方の意見を聞くことも大事だと思いました。そこで、生徒だけでなく先生方にもご意見をいただくかもしれません。その時は、素直な意見を聞かせてください！皆さんが勉強や部活に力を入れられる環境を作るためにご協力お願いします！これから生徒の皆さんのために、あらゆる課題に取り組んでいきますので、1年間よろしくお願いします！



生徒会 書記 1年J1組 新井 陽詩

第3期生徒会の書記を務めることになりました、1年J1組の新井陽詩です。生徒会の一員として自らの職務を全うし、生徒や先生方、生徒会のメンバーから信頼を得てより良い会議と高め合いを実現出来ればと思っています。私のこれからの活動は、生徒への配慮を忘れずにおかつ、樹徳の文化を大切に、樹徳らしさを捨てないやり方で、この学校をより美しく、華やかなもの出来ればと考えております。また私は活動の結果だけではなく、本気で取り組んだその過程や経験も重視します。“勝ちより価値”“進取果敢”を胸に、色々なことに挑戦をしていきますので、これからの第3期生徒会をよろしくお願いします。



生徒会 庶務 1年K組 森田 結翔

皆さんこんにちは、第3期生徒会庶務に就任した、1年K組の森田結翔です。私は読書を通して樹徳高校をより賢くより心豊かにしたいと考え、生徒会へ参加しました！生徒会庶務として、自分の公約を遂行するのは当然のこと、それと同時に生徒の意見をよく聞き、早め早めの行動を心がけていきたいと思っています。1年生なので樹徳生としてまだ日が浅いですが、樹徳をよりよい高校にするために全力で活動に打ち込んでいきます！生徒会の活動には皆さんの協力が必要不可欠ですので、是非、皆さんの意見や提案などを私たちに聞かせてください！これから1年間生徒会役員として活動していきます、皆さんよろしくお願いします！

一貫校 中学校 だより

6年6色

－ 受験に向けて －

いよいよ受験シーズンが近づいてきました。一貫校で今年度、受験が最も早かった生徒は、すでに入試を終え、合否結果が出ています。

最近の大学入試の特徴は、推薦入試の募集定員が増えていることです。入学者における推薦入試合格者の割合は私立大学では約60%、国公立大学では約25%を占めています。そのため、一貫校生が推薦入試から受験する割合も高まっています。

推薦入試は10月・11月に実施されますので、受験する生徒は面接・小論文・学力試験などに向けて現在、その準備に大忙しです。しかしながら、推薦入試は不合格になる場合も多々あります。そのため一般入試に備えて、学力をしっかりと高めていく必要もあります。

一般入試だけを考えている生徒たちも、受験にむけての勉強がいよいよ大詰めです。この学年は高校入学時より教育課程が新課程に変わったため、入試に多くの変更が行われています。共通テストに新たに『情報』の科目が加わったり、地歴では科目の変更、国語・数学でも内容や試験時間が変更になったりしています。

私立大学の一般入試は1月下旬から2月下旬、国公立大学は2月下旬から3月下旬まで試験や合格発表が行われます。

早く受かることが大事なのではありません。自分の第一志望大学に合格することが、最も重要です。途中であきらめることなく最後まで追い求めてほしいと思っています。



6学年主任 内田富明

－ 第2学年の総合学習 －

第2学年の総合学習は、月影祭から始まりました。「桐生のSDGs」というテーマに向けて「地域活性」「食」「河川」「ジェンダー」「ゴミ」「人食いバクテリア」「織物」の7つの班に分かれて探究学習をしました。各班は、テーマについての現状を想像し、PCや資料を使って調べ学習をしたり、現地を視察に行ったりしながら、具体的な問題点を探っていました。今回の探究学習で大切にしたいことは、実際に現地へ行って自分たちの目で見てくること。インタビューや取材をして、現状を把握すること。その上で、何が起きている、どのような問題があるのか、何が必要なのか等を考えることでした。現地では、想像していなかった実態があったり、新発見があったりしました。生徒たちは、この経験から、実際に体験していただくことの大切さを実感していました。

次はコーヒーをテーマに、継続可能な発展を考える活動をしました。90分の制限時間を設定し、時間内に問題把握から調査、まとめの資料作りから発表まで実践しました。本物のコーヒー豆を手に取り、集中力や協力性の高さを取材中の記者さんから褒めて頂くことができました。

今は、1・2年合同の尾瀬校外学習をチャンスに、現在困っている「木道」「鹿」「トイレ」「魅力度」の問題解決に取り組んでいます。月影祭で培った力を活かして、現地を視察しながら現地でガイドさんから取材をして、解決策を提案発表しました。今回は1年生との協力と、引き継ぎ方も学んでいます。総合での探究活動を通して、自分の考えや意見を持つとともに、他者と関わり合うことの大切さを学び、実践しています。ご協力頂いた地域の方、保護者の方々、今後ともよろしくお願いいたします。

2学年副担任

スクールカウンセラー

柏瀬薫世

◆高原学校

8月21日(水)～22日(木)に中学1・2年生が、尾瀬方面での一泊二日の高原学校に参加しました。1日目は尾瀬ヶ原の散策やキャンプファイヤー、2日目は農園での果物狩りやジャムづくりなど、普段なかなか体験することができない経験をすることができました。

事前学習として、7月ごろから各グループでの総合学習に取り組んでおり、高原学校当日には尾瀬のネイチャーガイドさんに積極的に質問する姿が見られました。



幼稚園だより

◆「もうすぐ運動会」 ～練習の成果を観に来てください

我が町桐生市が、日本一の暑さになるほど暑かった夏も少しずつ落ち着き、空には赤とんぼがたくさん飛ぶ季節となりました。来る10月12日(土)は、幼稚園の一大イベントである「運動会」が開催されます。子どもたちは、9月に入ると運動会に向けて少しずつ練習を始めてきました。残暑が厳しい中でも、毎日元気いっぱい練習に励んでいます。自分たちの頑張った成果を家族に観てもらいたいという思いから、リズム遊戯や組み立て体操を熱心に練習しています。初めはうまくいかなかった動きも、少しずつ形になってくると一人一人の顔つきが変わってくるのが分かります。

当日は、子どもたちが一生懸命に取り組んでいる姿や、友達と力を合わせて一つのものを作り上げる頑張りをぜひご観覧いただくと幸いです。そして、大人も子どもも笑顔いっぱいとなる楽しいイベントにしたいと思います。ご家族の皆様や関係者の皆様には、ご声援をよろしくお願いいたします。



運動会本番に向けて練習に励む

◆「不適切な保育」を防ぐために

最近、保育業界の中で、「不適切な保育」という言葉が大きな話題となり、メディアでも頻繁に報じられるようになりました。各園では、「自分の園で起きないことを願う」と神経を尖らせている状況だと思えます。

そして、保育所内における不適切な保育やそれに類する事例の報告・報道が相次いでなされている現状の中で、全国保育士会が平成29年3月に『保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト』を作成(平成30年4月一部改訂)し、令和3年には『不適切な保育の未然防止及び発生時の対応についての手引き』が厚生労働省から発表され、その手引きの中で不適切保育の具体的な行為類型5つが示されました。全国保育士会が作成したセルフチェックリストは、本園を含め多くの園で活用されています。

入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- ◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- ◎お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571
桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>



楽しかったお泊まり会での「縁日ごっこ」

また、令和5年5月には、こども家庭庁より『保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン』が発行されました。このガイドラインの中で、新たに定義されたことは、「保育者による虐待」です。これまで「虐待」という言葉は、家庭内において子どもを監護する大人(保護者など)が子どもに対して行う行為を示す言葉として使われていましたが、新たに保育者による行為にも「虐待」という言葉が使われるようになりました。

このように、厚労省が発表した手引きやこども家庭庁が発行したガイドラインで、保育所内で起こった不適切な保育等への対応について、国から各自治体等に対して統一的な考え方が示されるようになったのです。

私たち幼児教育・保育に携わる者は、前述のような手引きやガイドラインの内容をしっかりと踏まえ、現状の子どもへの接し方が、子どもの人権・人格の尊重の観点に照らして適切なものであるか、常に自己点検し、必要に応じて行動を改める必要があります。そして、すべての子どもが楽しく充実した毎日を過ごすために、倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断を備え、豊かな感性と愛情をもって、一人一人の子どもの発達状況と子どもの特性に応じた適切な保育を行うことが大切です。

園長 佐野 悦生



地震が来たら・・・机の下に身を隠して

10月(正念)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	火	更衣 校内安全点検日 県校長会		衣替え 安全点検日
2	水	中間試験(~4日)	中間試験(高校~4日)	英語・文字(年長)
3	木		中間試験(中学~4日) 薬物乱用防止教室(中学)	体育・文字(年中)
4	金	マイトリー基金拠金日 後援会役員会② レッドランズ高校来校		
5	土	3年生普通自動車教習開始 英語検定②一次 3年生ベネッセ・駿台記述模試②		開園日(預かり保育)
6	日			
7	月	授業料・第2回諸費納入日 学年主任会⑥		
8	火	1年生校外学習(大川美術館・桐生市内散策 ~15日)		
9	水	探究・LHR 日私中高連帯任理委員会 「探究」総括講義(3年生)		運動会予行練習
10	木	第1回関東高P連役員会(千葉県 ~11日)		劇団ドレミ座公演 保育料納入日
11	金	県私学保護者連合会理事会(共愛)		運動会前日準備
12	土	オープンスクール4	中学校模試 数学検定	運動会
13	日			運動会予備日
14	月	スポーツの日		
15	火			運動会代休日(預かり保育)
16	水	探究・LHR		お茶のお稽古④
17	木			体育・文字(年中)
18	金	漢字検定② 県高P連東毛地区指導者研究会(桐生)	漢字検定②	親子バス旅行
19	土	3年河合塾全統記述模試③	特別選抜入試	開園日(預かり保育)
20	日	個別入試相談会①		
21	月	朝礼 教科主任会⑥ 制服アフターサービス 個別入試相談会・放課後(~12/6)	三越アフターサービス 落ち葉清掃(~24日)	リズム・線遊び(年少)
22	火	3年河合塾全統共通テスト模試(~26日) 県高校総合文化祭開会式(群馬会館)		ボール投げ教室⑤(年中・年長)
23	水	探究・LHR		英語・文字(年長)
24	木	合唱コンクール(1年生) 関東地区代表高等学校長研究協議会(~25日)	4年生合唱コンクール	体育・文字(年中)
25	金		中学 校内合唱コンクール	さつまいも掘り
26	土	個別入試相談会② 後援会研修旅行		開園日(預かり保育)
27	日			
28	月	群馬県民の日		
29	火			線遊び(年少)
30	水	探究・LHR 3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試(~11/2)		英語・文字(年長)
31	木	出欠統計提出 浄土宗開宗850年音楽法要(オンライン) 全国私学教育研究集会(大分~11/2)		スマイル主催ハロウィンパーティ



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」

- ・10月5日(土) 9:00~15:00
群馬県社会保険労務士会桐生支部 無料相談会
代表 杉戸健二さん
- ・10月26日(土)・27日(日) 9:00~17:00
桐生工芸協会 作品展示会 代表 森敏彦さん

11月(正定)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	金	校内安全点検日 3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試(～2日) 全国私学教育研究会(大分)		安全点検日 火災対応避難訓練
2	土	1・2年ベネッセ総合学力テスト 個別入試相談会③		開園日(預かり保育)
3	日	文化の日		
4	月	振替休日		
5	火	2年生修学旅行事前指導①(1・2時限) 授業料納入日 マイトリー基金抛金日		線遊び(年少)
6	水	探究・LHR 私学振興全国大会(東京)		英語・文字(年長)
7	木	校内球技大会	高校校内球技大会	体育・文字(年中)
8	金		Literas論理言語力検定 3年語学研修-ニュージーランド(～14日)	お誕生日会(10・11・12月生) 保育料納入日
9	土	個別入試相談会④		開園日(預かり保育)
10	日	英語検定②二次	3年語学研修-京都(～14日)	
11	月	朝礼 学年主任会⑦ 制服アフターサービス	三越アフターサービス	教育実習受け入れ(～22日まで) リズム・線遊び(年少)
12	火			焼き芋会
13	水	探究・LHR		お茶のお稽古⑤ 英語
14	木	期末試験(～19日)	高校期末試験(～19日)	体育・文字(年中)
15	金	修学旅行事前指導② 青少年育成研修会(アルカディア)		卒園・終了写真撮影 七五三祝い
16	土		第一期中学入試	開園日(預かり保育)
17	日	勤労感謝の日		
18	月			リズム・線遊び(年少)
19	火			ボール投げ教室⑥(年中・年長)
20	水	探究・LHR 3年河合塾全統ブレ共通テスト模試(～23日)		英語
21	木			体育・文字(年中)
22	金	県高P連指導者研究会		文字(年長)
23	土	勤労感謝の日		
24	日	勤労感謝の日		
25	月	2年生修学旅行直前指導③ 運営委員会④ 平和学習(1年生) 消費者教育(3年生) 3年進学クラス三者面談(～29日)		リズム・線遊び(年少)
26	火	2年生修学旅行(～29日)	5年修学旅行(～29日)	文字(年長)
27	水	探究・LHR		英語・文字(年長)
28	木			体育・文字(年中)
29	金	1年生進路ガイダンス 出欠統計提出		
30	土			開園日(預かり保育)



樹徳高等学校

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

樹徳中学校

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

樹徳幼稚園

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく